



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKOROZAWA

2026年9月 通巻 441号

今月のテーマ EMC



会 長	小林 勉	クラブ会長主題 「人、出会い、交流」
副会長	金本伸二郎	国際会長 ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク(ノルウェー)
副会長	岡部八千代	「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」
書 記	宮地輝子	アジア太平洋会長 ラチャン・マニカーン (タイ)「アジア太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる」
会 計	上山武夫	東日本区理事 山下 真 (十勝)「挑戦なくして進化なし」
		関東東部部長 廣田光司 (千葉)「地域奉仕活動と YMCA サービスでクラブを元気に」

今月の聖句

イエスは言われた。『心を尽くし、魂を尽くし
思いを尽くしてあなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の戒めである。第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』この二つの戒めに、律法全体と予言者とが、かかっているのだ。」
マタイによる福音書第22章37節～40節

9月 例会

日 時：令和8年9月26日(土)
15:00 ~20:00

会 場：第1部 YMCA 所沢センター
第2部 YMCA 子育て子育てセンター
駐車場

第1部	司会 金本副会長
1. 開会点鐘	小林会長
2. ワイズソング	
3. ワイズの信条	
4. 聖書祈り	金本副会長
5. 卓話	太田総主事
6. YMCA 報告	太田総主事
7. ワイズ報告	小林会長
8. 誕生・結婚記念	
9. 閉会点鐘	小林会長

第2部 バーベキューwith 学生ボランティア

参加・不参加を

9/21(月)日までに所沢クラブLINE、又は
TEL(宮地 090-8302-5495)でお知らせください。

——私がYMCAを愛し、ここで働く理由

埼玉 YMCA 総主事 太田 聡

埼玉 YMCA の正職員の顔ぶれを見ると、その約3分の2は、かつて子ども時代にメンバー(会員)だったり、学生時代にユースリーダー(ボランティア)を務めたりした経験を持っています。自分が育った大好きな場所で「今度は自分が職員として働きたい」と願うのは、とても自然で美しい流れだと感じます。

では、就職活動まで YMCA を全く知らなかった私のような人間が、なぜこれほどまでに YMCA という場所に魅せられ、今こうして仕事をしているのでしょうか。私の原点についてお話をいたします。

私の父は重度障害者の入所施設で仕事をしており、私にとって「社会福祉」は幼い頃からとても身近な存在でした。大学では社会福祉を専攻し、在学中には1年間休学して、イギリスのウェールズにある障害者施設でボランティア留学をしました。

日本に帰国したときは、まさに「就職氷河期」の真っ只中。無理に就職せず、今度は東南アジアや海外青年協力隊で修行を積もうと考えていた私は、ほとんど就職活動をしていませんでした。そんな中、たまたま一度だけ大学の学生課に足を運んだ際、一冊のパンフレットが目にとまりました。そこには、こう書かれていました。「世界を見つめ、地域に生きる」

そこにあったのは、青少年教育、障害児教育、国際教育といった、私がずっと求めていた「地域の福祉に関わりながら、同時に国際的な視野を持って活動できる」仕

事そのものでした。この言葉に一瞬で心を奪われ、私は YMCA の門を叩いたのです。

働き始めた頃、先輩職員が私にこんな言葉を教えてくれました。「YMCA ではお金持ちにはなれないけれど、素晴らしい出会いを通じて『人持ち』になれるよ」

この仕事に就いて 25 年が経ちますが、その言葉は本当に真実でした。日々、子どもたちの成長に立ち会い、会員、そしてワイズメンズクラブの皆さんをはじめとする素晴らしい方々と出会い、支え合ってきました。これほど面白く、やりがいと喜びに満ちた仕事は他にないと、私は YMCA の仕事が大好きです。

現在、日本国内には 100 年を超える歴史を持つ YMCA が 12 あります。私たちの埼玉 YMCA は、今年で 54 年目を迎えています。次の 100 年へと続く埼玉 YMCA であるために、私はこの仕事の楽しさや尊さを多くの人と分かち合い、応援してくださる仲間を増やしていきたいと思っています。そして何より、次の時代を担う若い人たちにとって、挑戦しがいのある「魅力的な職場」であり続けるよう、これからも全力を尽くしてまいります。

8 月例会報告（納涼例会）太田総主事・大澤和子

8 月 8 日のワイズ例会は、大澤和子ワイズメンのご自宅（ふらっと JOY）をお借りして、アットホームな「納涼例会」として開催されました。



第 1 部のワイズ報告で小林会長は『卓話や映画など多くの人が集まれるイベントを作っていきたい。2027 年度には所沢クラブ創立 40 周年となるので記念事業をしたい。川越クラブ、埼玉クラブから、ユースボランティア報告会、大島博幸牧師の卓話を 3 クラブ合同でとの提案があった。』と報告されました。

YMCA 報告では『共に生きる社会とは逆のことが起こった津久井やまゆり園事件から 10 年が過ぎ、職員、会

員と共に献花し、元津久井やまゆり園の職員だった父太田顕氏から話を聞いたこと。熊本地震では熊本 YMCA の建物もダメージを受け、災害支援、避難所運営を、全国 YMCA から協働して支援を行うことになったこと。キャンプ事業は若いリーダー育成に大事な事業で今年も 5 つのキャンプを行う。』などの報告がありました。このように所沢ワイズとして話し合うべき真面目な議題はいつも通りしっかりと協議いただきましたが、皆様の本当のお楽しみはその後にありました。



テーブルを埋め尽くす手作りの美味しいお料理を囲み、楽しい宴がスタート。今回は埼玉ワイズから衣笠さんが、ウェルネスの職員の福田さんも参加し、そして元リーダー OB の並木実さんが相棒のギターを携えて駆けつけてくださいました。お腹が満たされた後は、並木さんの伴奏に合わせて懐かしのキャンプソングを全員で大合唱。さらに、最後は全員で「じゃんけん列車」のゲーム大会に興じ、まるで子どもに返ったかのような笑顔と熱気に包まれました。



帰り際、ある方が「毎回こんな例会だったらいいのになぁ……」とぼつり。毎月お祭り騒ぎというわけにはいきませんが、そう本音が漏れるほどメンバーの絆が深ま

った、最高に温かい納涼例会となりました。

熊本地震の義援金として、YMCA を通して合計 25,000 円を寄付することに決定しました（クラブから 10,000 円、ニコニコ献金から 15,000 円※不参加の岡部さんと妹さんからの寄付を含む）。その後、なごり尽きない納涼例会は 20：50 に閉会となりました。

8 月例会（納涼例会）

所沢クラブ	9 名	
埼玉クラブ	1 名	計 13 名
ゲスト	3 名	

YMCA 報告：

太田 聡 総主事

子どもたちの眩しい笑顔がたくさん集まる 8 月の活動が無事に終了しました。

この夏は、カヤックに挑戦した「マリンキャンプ」や、ネイティブと過ごした「English Camp」、発達課題を持つ子どもたちの「Big Smile キャンプ」など多彩な野外活動を展開しました。

他団体との協働では、ゲーム依存の「治療キャンプ」に



加え、初の試みとして「ヤオコー子ども支援財団」と協働で、普段子ども食堂等を利用する子どもたちを招いた「冒険サマーキャンプ」を東山荘で開催し、最高の夏の思い出を届けることができました。

アンケートからは、キャンプが子どもたちだけでなく、忙しい保護者にとっても「レスパイト（息抜き）」の大きな機会となったことを強く実感しました。新しいリーダーも増えています。子ども、ユース、保護者を包み込む「ポジティブネット（互いを認め合い高め合うつながり）」の場を今後も広げてまいります。安全な守りに感謝し、新学期もよろしくお願いいたします。

ワイズ報告

宮地輝子

- ・8 月例会に埼玉クラブの衣笠さん・並木さん・池田さん・福田さん（YMCA まみこリーダー）がゲスト参加され、ギターに合わせ、キャンプソングを歌い、にぎやかに集いました。
- ・9 月例会は YMCA 学生ボランティアとの合同のバーベキュー会を行うため例会は第 2 土曜ではなく 9 月 26 日（土）となりました。
- ・関東東部廣田部長から連絡があり、関東東部部長訪問は 10 月 10 日（土）の 3 クラブ YMCA 合同例会に公式訪問を受けることになりました。
- ・熊本地震の義援金として所沢クラブから YMCA を通して 25,000 円を寄付することになりました。内訳は所沢クラブから 10,000 円、8/8 の例会時のニコニコ献金から 15,000 円（欠席の岡部副会長と妹さんからの寄付を含め）です。

今後の行事予定

宮地輝子

- 9 月 9 日（水） ワイズと YMCA との打ち合わせ会
13：30～
「9/26 の例会のバーベキュー」他についてなど
- 9 月 26 日（土） 9 月例会 15：00～
第1部 卓話 太田総主事
第2部 YMCA 学生ボランティアとのバーベキュー
例会報告 岡部
- 10 月 1 日（木） ブリテン発行
一面 小野塚
- 10 月 10 日（土）埼玉・川越・所沢 3 クラブ合同例会
YMCA 所沢センター
例会報告 宮地

煎茶 90g 1,000 円
和紅茶 1,000 円

羊かん 500 円
クッキー 150 円

好評
発売中！

